

6/2 [±]

、鬼みずほ鷽

オープニングレセプション

MIZUHO KUKI

6月2日 [土] 15:00~

作者の作品である土器を使って 古代食を再現します。

6/17<sub>[8]</sub>

12:00-17:00 土日祝は19:00まで 月・木曜日休廊

Gallery Suujin

ギャラリー崇仁

元崇仁小学校内/京都市下京区川端町 16 京都駅より徒歩9分

主催:京都市立芸術大学 企画支援:京都市立芸術大学キャリアデザインセンター 問合せ先: 京都市立芸術大学 事務局 総務広報課 TEL 075-334-2200

http://www.kcua.ac.jp/

## OPEN BURNING TARTHENWARE





感動したからです。

土で出来たものが、

長い年月を経ても、ずっと土の中に残っ

H

だと、最近になって思うようになりました。 想いを「形あるもの」として具象化し、それを造形すること ての(自分のやりたい)美術は、きっとその延長線上にあって、 て残るように、一つの形にする事が好きでした。自分にとっ いうと、 た出来事などを、 のを見て、その造形の妙 約一年前から、野焼土器を作り始めました。 、それは単純に、長野や新潟で初めて縄文土器という 様々な素材で、それらが大切な想い出とし 形の面白さというものに素直 なぜ土器

子供の頃、大事にしているもの、好きなもの、身の回りにあっ

ています。ぜひとの機会にど高覧ください。 の制作に於けるとれ 古学にまつわる様々な手法、アプローチというも 土に触れる機会の多い日々を過ごしていることもあって、 幸いたも発掘文化財に携わる仕事に就くことが出 キーが焼きあがったときの喜びに似ています。 れる、そして、焼きあがる。特別な設備や技術を必要としない、 して造形された「形あるもの」に違いないということ。 生活から生まれ出た何らかの想いが、 ている驚き。そして、 シンプルな方法がとても魅力的で、それはまる は自分の探求している美術と共鳴し得るものを感じました。 今回は野焼土器に加えて、絵画、写真などの新作も展示し 粘土を採る、 実生活に於いても、 土を捏ねる、形を作る、薪をくべ火の中に入 からの展開の手助けとなりつつあります。 きっとそれは先人たちの祈りや 土器作りを始めたのと同時期に、 まさに具象化され、 で、 来 のが、 家でク 今現在、 それ 7 考

作家プロフィー

## 九鬼みずほ [くき・みずほ]

1989 年 和歌山県生まれ、大阪在住

2015年京都市立芸術大学美術研究科修士課程絵画専攻(油画)修了 2015年 ART AWARD TOKYO MARUNOUCHI 2015(丸ビル)

個展"Psychokinesis Memorial"( Alan is the only one/ 東京) 2016 年 "pure roman" (Matsuo Megumi+Voice Gallery/ 京都) 2017年 オープンアトリエ (大阪、北加賀屋) https://kukimizuho.tumblr.com



http://www.kcua.ac.jp/event/20180602\_kukimizuho/

以前は小学校の職員室であった 空間が、本学環境デザイン専攻 の学生の設計により、ギャラリー として生まれ変わりました。

京都市立芸術大学では、この新たな展示空 間「ギャラリー崇仁」において、移転整備 プレ事業として, 若手作家を支援するための プロジェクト「教室のフィロソフィー」を実施 しています。このプロジェクトでは京都市立 芸術大学を卒業、あるいは大学院を修了し た若手作家を、小学校解体までの2年間、 連続して紹介していきます。日本画、油画、 彫刻、染織等様々な専攻で学び、新たな表 現を生み出そうと苦闘している作家たちが生 み出した作品群からは、現代の新しいアート の息吹を感じていただけることと思います。





ACCESS アクセス

JR 京都駅中央ロより徒歩9分 地下鉄烏丸線京都駅ポルタ A3出口より徒歩 7 分 京阪七条駅 1番出口より徒歩 6分 ※お車でのご来場はご遠慮ください。

オープニングレセプション

6月2日 [土] 15:00~

作者の作品である土器を使って

古代食を再現します。

京都駅より徒歩9分 京阪本線 七条通 Gallery Suujin 京都タワ 塩小路通 JR東海道本線 元崇仁小学校内/京都市下京区川端町 16